

地域主導型公民館への移行（新居浜市）

【取組概要】

公民館を、地域住民主導で社会教育と地域づくりの拠点として活用するため、従来の正規職員の公民館主事から地域人材の非常勤職員主事に転換し、併せて地域課題解決型の新たな組織づくりや人材の育成を推進することにより、当事者意識を持った新しい公共の担い手として再構築。

【取組みの効果】

公民館の役割の中で、地域課題解決の取組み活動拠点としての要素が高まり、これまで職員の人事異動によって不連続になりがちだった地域活動に連続性が生まれ、行政への依存体質から、自分達が地域を創るという気概を持った自主自立体質に転換。

【他団体へのアドバイス】

公平公正を唱えすべて一律に変革を行うよりも、一定の準備期間を設け、段階的に取組む手法の採用も必要。もっと情報交換を行い、共に磨き合っ
てよりよい改革を目指すべき。

【創意・工夫した点】

- ・全公民館を一律に移行させるのではなく、地域主導への意思が固まった公民館から順次移行。
- ・社会教育主事資格の取得促進。
- ・ワークショップを多用し、住民が主体的に参画する仕組みを醸成。

人口 124,438人

担当部署 教育委員会 社会教育課
取組み事例のURL

http://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/detail.php?lif_id=4087



社会教育主事講習への参加



職員が自主的に行うスキルアップ研修